



Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」
Citation	, 99, 1-23
Issue Date	1997-12
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/66400
Type	periodical
File Information	yuin99.pdf



[Instructions for use](#)



拾 蔭

Yuin 北海道大学附属図書館報

目 次

北分館の機能充実のために 附属図書館長 原 暉之……………1	夜間開館担当職員からの感想……………12
北分館の将来像 附属図書館北分館長 吉野 悦雄……………3	お知らせ……………15
平成8年度 図書館統計……………7	会議……………18
部局別受入・蔵書冊数……………7	研修・講習会等……………21
附属図書館利用統計……………8	PR：ホームページ……………23
図書館相互協力統計……………9	
貸出頻度順リスト……………10	

北分館の機能充実のために

附属図書館長 原 暉之

大学図書館は、大学の教育・研究を支える最も基本的なインフラの一つであり、しかも全学に関わるインフラである。そうした教育・研究基盤としての大学図書館を整備するには、全学的な協力のもとで知恵や工夫を出し合うことが求められていると思う。

北海道大学附属図書館はこの度、平成9年10月29日に第170回（平成9年度第3回）図書館委員会を開催し、議題「北分館の機能及び整備について」を審議した。結論としては、北分館の存続が確認されるとともに、その機能充実を図ることが了承され、これをうけて附属図書館では今後、従来にも増して北分館の利用環境を改善するための取り組みを進めて行く運びである。

北分館の「存続」は、ある意味で当然のように

思われよう。全学の教室使用状況調査によれば、1週当たり教室使用数（今年度前後期平均）は札幌キャンパス全体で107、高等教育機能開発総合センターで34、従って全学における授業の約30%が高等教育機能開発総合センターで展開されていることは間違いない。この数字だけ見ても、高等教育機能開発総合センターと同じゾーンに立地する北分館に教育支援の面で大きな役割が課せられていることは、今や明らかである。

しかし、今から2年半前の平成7年4月に旧教養部が廃止され、学部一貫教育体制に移行したとき、状況は今日明白であるようなものでなかったのも事実である。おそらくそのような状況を一つの背景として、平成7年10月24日開催の第161回図書館委員会です承された「附属図書館

将来構想に関する基本的合意事項」は、「基本的には北分館を中央図書館に統合する」ことを掲げていた。

北分館に現在求められている要請に対応し、その機能充実を図るには、2年前の「基本的合意事項」の見直しから出発する必要があったことをご理解いただくために、この間の経緯についてまとめた資料(第170回図書館委員会に提出したもの)を以下に転載することをお許し願いたい。

北分館の存続について

(第170回図書館委員会資料)

平成7年10月24日の第161回図書館委員会です承された「附属図書館将来構想に関する基本的合意事項」は、その第2項で「基本的には北分館を中央図書館に統合する」ことをうたっている。

これに先立ち、図書館委員会に附属図書館将来構想検討小委員会が設置されたのは同年5月16日の第159回図書館委員会においてであった。同小委員会は、7月10日の第1回会議、8月3日と8日の理系及び文系図書館委員懇談会を経て、9月28日の第2回会議で原案を策定し、その報告を受けて、10月24日の図書館委員会です承されたのが上記「基本的合意事項」である。

当時、本学は学部一貫教育体制への移行、高等教育機能開発総合センターの発足から間もない頃であり、一般に全学共通教育実施体制のあり方、特に全学共通教育を実施するに当たっての施設計画は未確定であった。上記第2項に「ただし、初年次向けの全学教育が、今後も旧教養部ないし北キャンパスで行われる場合には、学習や教育の便を考慮し、学習図書室(開架図書室)を引き続き北キャンパスに残す」との但し書きが付されたのは、当時の先行き不透明な状況を背景としていた。

その後、全学共通教育に係る施設計画は「学部一貫教育実施準備委員会第一専門委員会施設計画ワーキンググループ」等で検討され、それを踏まえて全学のキャンパス・マスタープラン委員会

は種々審議の結果、フレッシュマン教育は主として旧教養部敷地で展開することが確認され、平成8年度末までに策定された「キャンパス・マスタープラン96」では、高等教育機能開発総合センターを中心とする敷地が全学教育ゾーンに指定された。

また、以上の経緯に関連して、「キャンパス・マスタープラン96」の最終稿(平成9年2月)では、未定稿(平成8年10月)にみられた「新営の中央図書館は、分館を統合する一館体制とし」の文言が削除された。これは、上記「基本的合意事項」第2項但し書きの趣旨を生かし、第2項本文を事実上修正したものと理解することができる。

平成9年度に入り、高等教育機能開発総合センター予算・施設委員会の下に「庁舎整備計画推進ワーキング・グループ」(委員長:渡邊暉夫理学研究科教授)が発足して高等教育機能開発総合センターの改修を含む全学共通教育のための施設計画について検討が重ねられ、また全学の施設・環境委員会の下に北分館長をも一員とする「施設計画(全学教育・情報処理教育)推進専門委員会」(委員長:土岐祥介工学研究科長)が設置されて、同じ問題を全学レベルで検討する体制が作られつつある。

本学におけるフレッシュマン教育の展望に関連した北分館の機能及び施設のあり方をめぐっては、図書館北分館委員会、附属図書館新営検討小委員会でも検討されてきた。

5月28日の第119回(平成9年度第1回)北分館委員会では「高等教育機能開発総合センター改修に伴う北分館施設について」が議題に取り上げられ、この件は6月18日の第168回(平成9年度第1回)図書館委員会で北分館長から報告されている。

また、9月8日の第6回新営検討小委員会では、北分館の存続について館長から提案と提案理由の説明があり、意見交換が行われた。これを受けて9月11日の第121回(平成9年度第3回)北分館委員会では、「北分館の当面の機能と将来

像について」の議題の下に、①メインの機能として、低学年次学生を対象とする学習支援機能、②副次的な機能として、北分館周辺諸部局の高学年次学生・院生及び教官を対象とする学習・研究支援機能及びレファレンス機能を充実させ、併せて高度情報化時代に即した学習支援機能を高める方向で、北分館の存続を図ることが分館長から提案され、了承されている。

以上の経緯を踏まえ、上記「基本的合意事項」を見直し、北分館の機能と施設のあり方に関し北分館委員会で了承された方向で北分館の存続を図ることを本委員会にお諮りしたい。なお、附属図書館の将来構想については、引き続き新営検討小委員会で検討作業を続けることをお願いしたい。
(はら てるゆき、スラブ研究センター教授)

北分館の将来像

附属図書館北分館長 吉野 悦雄

— 全学教育全面支援と北キャンパス高学年次学生へのサービス充実 —

はじめに

平成7年4月より北海道大学でも学部一貫教育体制が実施されました。そして主として低学年次学生を対象とする全学教育は、そのほとんどが旧教養部庁舎で開講されることとなりました。これを受けて、高等教育機能開発総合センター（旧教養部庁舎）に隣接して設置されている北分館の存続が決定されましたことは巻頭原館長の論文にあるとおりです。

旧教養分館は、教養部の廃止に伴い平成7年4月に北分館と名称変更となりましたが、学部一貫

教育の実施に伴って北分館のあり方についての再検討が本格的に行われたことはありませんでした。むろん手をこまねいていたわけではありません。この2年間で、平日の夜間開館の実施、図書検索端末機器（OPAC）の増設や、インターネット端末機器の設置など地道な改善を行ってまいりました。しかし、北分館のあり方と将来像の検討は、平成9年9月11日の第121回北分館委員会で議題として取り上げられるまで、本格的に検討されることはなかったのです。本稿では、この北分館委員会での議論を踏まえて、北分館の将来像について述べてみたいと思います。

北分館の利用の現状

将来像の検討に際して、利用の現状を認識することから始めました。主要な5点のみを以下に紹介します。

- 1) BDS装置(自動入退館管理装置)の導入とそれに伴う開架閲覧室への鞆等の持ち込みの自由化に伴い、二階の開架閲覧室の利用が頻繁になり、座席数が不足するという状態が顕著になりました。一方、一階と三階の自由閲覧室(従来から鞆等を自由に持ち込めた閲覧室で、図書等は配架されていない)の利用頻度が低下しました。
- 2) 貸し出し図書の統計によれば、高学年次学生(2年後期から4年生まで)と院生の利用が合計で50%を超えていることが分かりました。逆に言えば全学教育の対象である低学年次学生の割合は5割を切っています。高学年次学生・院生における利用者数が最も多い学部は工学部で、以下理学部など自然系学部がこれに続きます。このことは、あまり知られていない事実です。私も分館長に就任するまでは、低学年次学生の利用が主であると考えておりました。
- 3) 新入生の図書館利用に際して、適切な利用ガイダンスが実施されておらず、新入生が直ちに図書館を十分に活用するには至っていないということも分かりました。また学生に対する図書レファレンス機能のサービスを充実する必要性を感じました。
- 4) マルチ・メディア化時代を迎えて、端末機器が導入されましたが、その台数はまだ不十分であり、しばしば順番待ちの現象が観察されます。また学生が自分のノート・パソコンを利用して、文献を整理したりレポートを作成する作業を支援する体制は全く整っておりません。また学生がグループで議論し集団で図書を利用するという環境も整備されていません。
- 5) 視聴覚教材は、講義においてのみならず、学生の自学自習にとっても極めて有効であります。四階には中規模の視聴覚室が設置されていますが、21年前に設計されたものであり、機種も20

年前のものであり、現在ではほとんど利用されていません。新しい時代に対応した視聴覚学習の支援機能を充実する必要性を感じました。高等教育機能開発総合センターの改築計画では、視聴覚教室の充実が検討されています。北分館では主に学生の自学自習の視聴覚学習を支援していきたいと考えています。

全学教育全面支援

以上のような現状認識にたつて、北分館が全学教育を全面的に支援していくことは当然のことでしょう。また、そのためにこそ北分館の存続が決定されたわけです。学生が15分間の休憩時間に図書の貸し出しと返却を行うためには北分館が現在の場所に存続することが必要です。昼休みは学生の交流の時間としても重要です。夕方はクラブ活動とアルバイトの時間となっています。基本的には15分間の休憩時間内に図書館が利用できることが望まれます。高等教育機能開発総合センターに隣接する北分館は、以前にもまして全学教育を全面的に支援する必要があると考えています。

では、当面どのような方策で学生の学習を支援できるのでしょうか。北分館では、まず二階と三階を統合して開架閲覧室とする計画案を現在検討中です。これが実現すれば開架閲覧室の座席数が拡大するだけでなく、開架の図書数も増加させることができます。また従来、一般学生にとって書庫への立ち入りは原則としてできませんでした。この書庫のうちかなりの部分を一般学生にも開放したいと考えています。これにより学生はより多くの図書に直接に接することができるようになります。また受験勉強直後の学生にあつては自発的に読書をする習慣がないため、適切な手引きが必要です。北分館では平成9年9月より『教官による図書紹介コーナー』を北分館のホームページの中に開設しました。最初の試行として10名の先生方に特にお願いして数冊の推薦図書とその推薦文を書いていただきました。その結果は、これら推薦図書の貸し出しが顕著に増加するという効果を

もたりました。今後はより多くの先生方に推薦図書の推薦文を書いていただきたいと考えています。このように北分館ではホームページも大いに活用していく方針です。学術情報リテラシーのガイダンスなど利用者講習は既に平成9年秋から実施を開始いたしました。今後はこれをさらに充実させていく方針です。これらのことは現状の予算・人員の枠の中で実現可能な全学教育支援策です。

一方、予算の関係がありますので直ちには実現できませんが、情報端末機器の増設も不可欠でしょう。視聴覚教材も充実させていく必要があります。さらに重要なことは学生の行動パターンが変化してきて、学習の場所が自宅から大学に移動してきている現状に対応するため、とりあえず土曜日の北分館の開館が特に望まれます。また最近の学生の気質を考慮すると、グループでまとまって図書を読み仲間議論をし、レポートを作成することが効果的です。現在の四階の演習室を廃止してグループ自習室に転換することを検討してみたいと考えています。これらのことは中・長期的検討課題です。

北キャンパス高学年次学生へのサービス充実

既に述べましたように、北分館の利用者の半分以上は高学年次学生と院生です。利用学生の意見を聞きますと、北キャンパスのいくつかの学部では学部図書室が狭隘で座席数が不足しているケースがあります。また高学年次学生にとってさえ学部図書室は心理的に敷居が高いということもあるようです。しかし最も重要な点は、北分館の蔵書が相当に充実しており、学部図書室にいかなくても北分館でだいたいの用は足りるという意見が聞かれたことです。旧教養部時代以来、物理・化学・生物・地学の先生方は基本的な図書の推薦に心を砕いてくださりました。この努力があってこそ上述のような意見が聞かれるのです。さらに重要な点は、北分館の蔵書構成が、単一部局の図書室とは異なり、複合領域にまたがり学際的性格を

もっているということです。医学部の学生が電気についての基本的文献を探す場合、あるいは工学部の学生が細胞学の基本的文献を探す場合、足が自然に北分館に向かうことは当然のことと言えます。また文学書や歴史書の並んでいる閲覧室で専門課程の勉強ができるということも魅力になっているようです。将来の自然科学系スペシャリストのための全人教育・生涯教育という観点からも図書館の重要な機能と考えます。

北分館は従来より言語文化部の研究支援機能と図書保存機能を担ってきました。この方針は今後も変わりません。しかし北分館が、北キャンパスのその他の部局の図書室機能、すなわち自然系の研究支援機能や図書保存機能を全面的に引き受けるという状況にはありません。学部図書室には学部図書室としての役割があるからです。このような状況にあっても、北分館の利用の現況をみると、現状の図書職員の人員と現行の予算の枠の中で、北キャンパス高学年次学生へのサービスは充実できるし、また充実していかなければならないと考えています。

ではどのような方策でこれが可能でしょうか。まず、全学教育全面支援の項で既に述べましたが、二階・三階の統合が実現すれば、開架閲覧室の座席数を増加させることができます。これは副次的効果として高学年次学生へのサービス充実にもつながります。また開架閲覧室に配置されている複本（同じ図書が10冊・20冊と配架されていること）の数を適正化して、配架スペースを作り出して、そこに書庫の中に保存されている専門的性格（準専門的性格）の図書を移動させます。このようなことは従来の予算の枠の中でも実行可能です。低学年次学生向けに整備されてきた図書の中には、専門課程の学生にとっても有益な図書が少なくないからです。

また今後他大学から入学してくる大学院生が増加していくであろうことを考えると利用者ガイダンスの講習会なども、本館と併せて開催していきたいと思います。レファレンス・サービスも充実させます。

蔵書構成についても幅広い検討を経て再検討する必要があるかもしれません。一つの例ですが、平成7年度から水産学部が高等教育機能開発総合センターにおいても専門科目の講義を開始しました。これに伴い、これら専門科目の教官選定図書を函館ではなく札幌キャンパスに備える必要性が生じました。その結果、平成9年度においては、水産学部の教官選定図書が札幌キャンパスに配架されました。高学年次学生へのサービス充実だけでなく、低学年次における専門教育科目の学習支援をどうしたらよいかという点を全学的に考える時期にきているように思います。

高学年次学生・院生へのサービス充実に関しては、パソコンによるマルチメディア学習への支援ということが最も求められています。この要望は本館・分館ともに共通する問題です。すなわち学生・院生が図書館の中で、図書を利用しつつ、パソコン上でレポート・論文が作成できるようにしたいという要望です。この要望は早急実現でき

るように検討を開始しております。

しかしながら、マルチメディア時代に本格的に対応するためには、分館にあつては、四階の再開発が不可欠です。これは大きな予算を必要としますので、中・長期的課題として検討していきたいと考えています。

おわりに

以上、現状の設備・人員・予算の範囲内で実現可能な改善案と長期的構想としての『夢』とをとりまぜてご紹介いたしました。全学教育全面支援のために北分館の存続が決定されたことと、北キャンパス高学年次学生へのサービスを充実させていくという新しい方向の模索とは、従来の北分館のありかたを大きく変えることになるでしょう。今後とも北分館へのご支援をお願いする次第です。

(よしの えつお、経済学部教授)

平成8年度 図書館統計

部局別受入・蔵書冊数

	購入			寄贈			管理換			その他			合計			蔵書冊数		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館	7,250	4,571	12,001	3,856	1,981	5,837	23,502	17,774	41,276	1,983	926	2,919	36,601	25,432	62,033	616,542	495,656	1,112,198
法学部	(1,161)	(2,507)	(3,668)	(407)	(135)	(542)	(0)	(0)	(0)	(553)	(539)	(1,092)	(2,121)	(3,181)	(5,302)	(80,362)	(142,654)	(223,037)
経済学部	(939)	(929)	(1,868)	(0)	(23)	(23)	(975)	(326)	(1,301)	(57)	(33)	(90)	(1,971)	(1,311)	(3,282)	(98,763)	(64,769)	(163,532)
教育学部	(1,919)	(449)	(2,368)	(11)	(0)	(11)	(22,494)	(9,491)	(31,985)	(212)	(14)	(226)	(24,636)	(9,954)	(34,590)	(24,636)	(9,954)	(34,590)
北分館	4,385	1,219	5,604	212	256	468	0	0	0	98	601	699	4,695	2,076	6,771	153,411	93,241	246,652
言語文化部	(1,540)	(1,168)	(2,708)	(105)	(253)	(358)	(0)	(0)	(0)	(98)	(182)	(280)	(1,743)	(1,603)	(3,346)	(25,671)	(68,299)	(93,970)
高等機能開発七	(150)	(22)	(172)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(419)	(419)	(150)	(441)	(591)	(15,062)	(8,779)	(23,841)
文学部	5,548	4,055	9,603	500	603	1,103	0	0	0	1,184	919	2,103	7,232	5,577	12,809	121,187	162,314	283,501
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	996	299	1,295	996	299	1,295	65,133	22,607	87,740
経済学部	35	30	65	0	0	0	217	353	570	975	316	1,291	1,227	699	1,926	5,003	2,880	7,883
理学部	214	1,101	1,315	2	225	227	3	160	163	104	1,867	1,971	323	3,353	3,676	48,285	157,498	205,783
医学部	519	334	853	211	29	240	0	0	0	672	1,602	2,274	1,402	1,965	3,367	70,484	101,163	171,647
歯学部	519	86	605	208	15	223	0	0	0	225	724	949	952	825	1,777	19,788	19,100	38,888
薬学部	51	35	86	5	0	5	0	0	0	34	444	478	90	479	569	6,407	17,638	24,045
工学部	1,366	697	2,063	24	5	29	81	83	164	404	1,557	1,961	1,875	2,342	4,217	182,534	152,570	335,104
農学部	1,306	327	1,633	114	18	132	295	586	881	544	846	1,390	2,259	1,777	4,036	169,956	117,297	287,253
農場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	210	98	308
演習林	106	18	124	8	4	12	0	0	0	57	29	86	171	51	222	29,892	3,032	32,924
獣医学部	121	153	274	7	0	7	9	32	41	68	339	407	205	524	729	11,726	23,547	35,273
水産学部	401	70	471	21	20	41	8	41	49	332	818	1,150	762	949	1,711	80,487	52,393	132,880
地球環境科学研究科	87	82	169	11	13	24	0	0	0	88	242	330	186	337	523	9,564	6,203	15,767
低温科学研究所	198	171	369	5	2	7	0	0	0	143	441	584	346	614	960	8,563	19,524	28,087
電子科学研究所	87	95	182	10	5	15	0	0	0	10	402	412	107	502	609	6,283	19,208	25,491
免疫科学研究所	4	15	19	0	0	0	0	0	0	0	243	243	4	258	262	793	5,720	6,513
触媒化学研究センター	8	78	86	0	0	0	0	0	0	10	190	200	18	268	286	3,389	12,441	15,830
スラブ研究センター	238	3,857	4,095	175	3,238	3,413	0	3	3	22	498	520	435	7,596	8,031	1,473	46,414	47,851
大型計算機センター	0	162	162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	162	162	963	2,483	3,446
事務局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,824	156	1,980
医療技術短期大学部	787	84	871	167	0	167	0	5	5	182	105	287	1,136	194	1,330	26,965	4,091	31,056
計	23,230	17,420	40,650	5,536	6,414	11,950	24,115	19,037	43,152	8,141	13,408	21,549	61,022	56,279	117,301	1,640,826	1,537,274	3,178,100

()は統合による図書館所蔵分で内数

附属図書館利用統計

入室者数統計

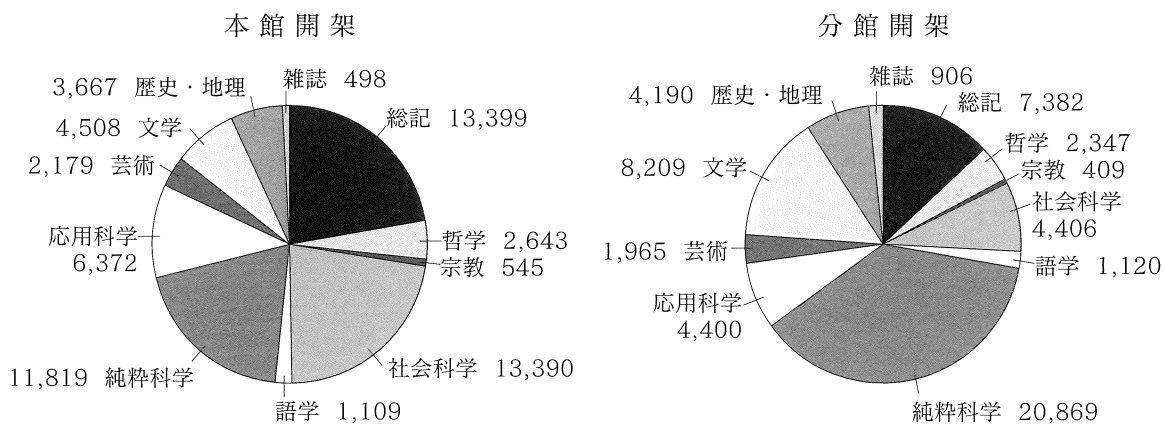
本館	(265日開室)		(242日開室)	(242日開室)	北分館	(232日開室)	
	開架閲覧室	語学演習室	参考閲覧室	北方資料室		総入館者	開架閲覧室
総入館者	277,484	413	50,472	3,445	256,441	214,444	823

* 集計機の設置場所の問題があり内訳を合計しても総入館者とはならない。

貸出冊数統計

	本館		北分館
	開架閲覧室 貸出冊数	書庫 貸出冊数	開架閲覧室 貸出冊数
学部学生	43,830	6,781	50,103
大学院生	10,717	19,898	3,579
教官	1,553	9,705	846
職員	2,327	983	1,505
学外利用者	1,702	2,202	170
合計	60,129	39,569	56,203

貸出冊数統計



利用回数 (平成8年度)

データベース名	利用回数
MEDLINE	53,641
CurrentContents	30,635
Biosis	4,189
合計	88,465

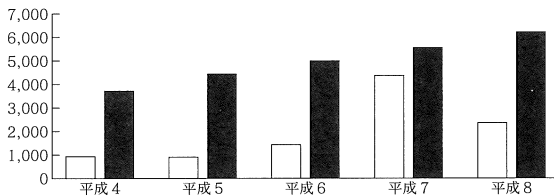
外部DBシステム登録人数

	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
Medline			168	207
Biosis	95	109	59	217
Current Contents	86	90	183	64

図書館相互協力統計

* 「図書館相互協力」とは、ひとつの図書館では応じきれない要求を、他の図書館が所蔵する資料の複写や借用によって補うサービスです。北大では8年度「受付」が「依頼」を大きく超えました。

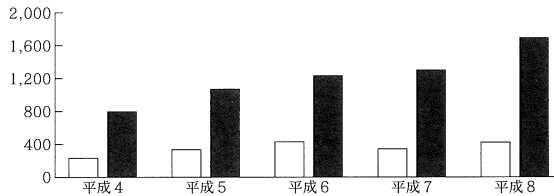
文献複写件数（相互利用掛）



	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8
□ 複写依頼	933	905	1,437	4,365	2,354
■ 複写受付	3,719	4,438	4,994	5,547	6,213

* 部局依頼分も含め、相互利用掛で扱った件数。

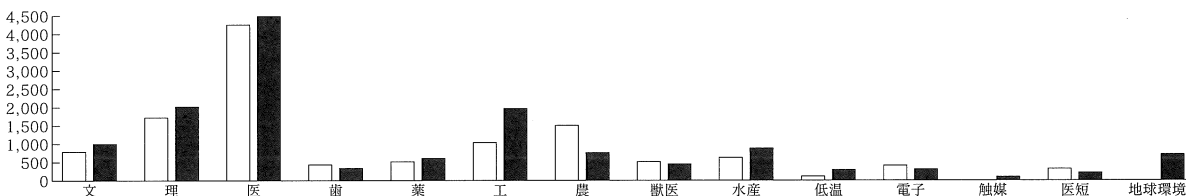
現物貸借冊数（相互利用掛）



	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8
□ 現物借用	233	335	429	342	422
■ 現物貸出	796	1,069	1,231	1,300	1,690

* 部局依頼分も含め、相互利用掛で扱った冊数。

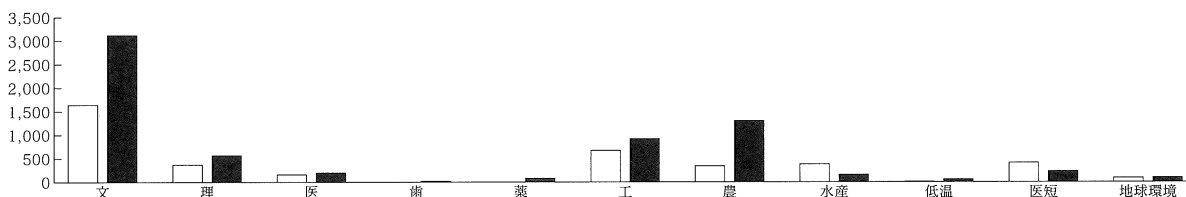
部局別文献複写件数



	文	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	低温	電子	触媒	医短	地球環境
□ 複写受付	788	1,721	4,253	432	512	1,033	1,502	509	621	112	405	0	316	0
■ 複写依頼	1,002	2,019	4,490	337	608	1,969	761	444	877	287	302	96	208	709

* 部局図書室が独自に取り扱った件数。取り扱いのあった部局のみ。

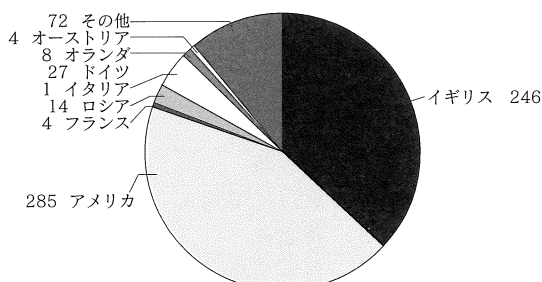
部局別現物貸借冊数



	文	理	医	歯	薬	工	農	水産	低温	医短	地球環境
□ 貸借受付	164	37	16	0	0	67	34	38	1	41	9
■ 貸借依頼	312	57	20	2	8	92	130	16	6	23	10

* 部局図書室が独自に取り扱った件数。取り扱いのあった部局のみ。

海外への協力依頼件数



申込者	電子複写	マイクロリダ	総数	件数
学内者	1,783	5,197	6,980	417
学外者	49,569	2,726	52,295	5,796
合計	51,352	7,923	59,275	6,213

* 参考調査掛から海外へ文献複写・現物貸借を依頼した件数。

貸出頻度順リスト

本館・開架閲覧室

順位	書名	著者名	出版社	回数	冊数
1	総則・物権総論 (民法1)	内田 貴	東京大学出版会	43	3
1	細胞の分子生物学	Bruce Alberts	教育社	43	5
3	生化学	E.E.Conn	東京化学同人	33	5
4	債権総論 (民法講座4)	星野英一	有斐閣	26	2
5	不法行為法 (現代法律学講座14)	前田達明	青林書院新社	24	2
6	生化学	Lubert Stryer	バイオメディック	23	1
7	固体のバンド理論 (物理学叢書47)	アシュクロフト マーミン	吉岡書店	22	2
7	債権各論 (有斐閣Sシリーズ36)	藤岡康宏	有斐閣	22	2
7	パラサイト・イブ	瀬名秀明	角川書店	22	1
7	構造化学 (朝倉化学講座9, 10)	林 通郎	朝倉書店	22	2
7	ナニワ金融道 四 (モーニングKC254)	青木雄二	講談社	21	1
12	ねじまき鳥クロニクル 第1部	村上春樹	新潮社	21	1
12	遺伝子 [第5版]	Benjamin Lebin	東京化学同人	21	2
12	ミクロ経済学	西村和雄	東洋経済新報社	21	2
12	天の瞳幼年編 2	灰谷健次郎	新潮社	20	2
16	構造化学 1 (朝倉化学講座9, 10)	林 通郎	朝倉書店	20	2
16	ソフィーの世界：哲学者からの不思議な手紙	ヨースタイン・ゴルデル	NHK出版	19	1
18	不法行為 (現代法律学全集10-2)	四宮和夫	青林書院	19	3
18	磁性	芳田 奎	岩波書店	19	1
18	量子力学	砂川重信	岩波書店	18	1
21	リング	鈴木光司	角川書店	18	1
21	憲法	野中俊彦	有斐閣	18	1
21	魔術はささやく (新潮文庫み-22-1)	宮部みゆき	新潮社	18	1
21	天の瞳幼年編 1	灰谷健次郎	新潮社	18	1
21	ナニワ金融道 弐 (モーニングKC254)	青木雄二	講談社	18	1
21	たいのおかしら	さくらももこ	集英社	18	1
21	ナニワ金融道 壱 (トニングKC254)	青木雄二	講談社	17	1
28	はじめて読むC言語：プログラミング環境のスタンダード	蒲軸輝尚	アスキー	17	1
28	リーガルマインド会社法	弥永真生	有斐閣	17	1
28	ファザーファッカー	内田春菊	有斐閣	17	1
28	ナニワ金融道 参 (モーニングKC254)	青木雄二	講談社	17	1
28	詳解理論応用量子力学演習	後藤憲一	共立出版社	17	1
28	アルジャーノンに花束を	ダニエル キイス	早川書房	17	1
28	24人のビリー・ミリガン：ある多重人格者の記録 下	ダニエル キイス	早川書房	16	1
35	返事はいらぬ (新潮文庫み-22-3)	宮部みゆき	新潮社	16	1
35	ねじまき鳥クロニクル 第3部 鳥刺し男編	村上春樹	新潮社	16	1
35	きらきらひかる (新潮文庫え-10-1)	江國香織	新潮社	16	1
35	レベル7 (新潮文庫み-22-2)	宮部みゆき	新潮社	16	1
35	超電導入門	A.C.ローズインネス	産業図書	16	1
35	事務管理・不当利得・不法行為 (民法講座6)	星野英一	有斐閣	16	3
35	株式会社の機関 2 (注釈会社法5-6)	星野英一	有斐閣	15	4
42	政治学史	福田歓一	東京大学出版会	15	1
42	詳解力学演習	後藤憲一	共立出版社	15	4
42	アムリタ 上	吉本ばなな	福武書店	15	1
42	現代国際法講義	杉原高嶺	有斐閣	15	1
42	ヴォート生化学 下	Donald Voet	東京化学同人	15	5
42	今月の困ったちゃん, エッセイ&漫画 (新潮文庫う-9-1)	内田春菊	新潮社	15	1
42	会社法 (現代法学)	森本 滋	有信堂高文社	15	1
42	統計力学 (岩波基礎物理シリーズ7)	長岡洋介	岩波書店	15	1

北分館・開架閲覧室

順位	書名	著者名	出版社	回数	冊数
1	細胞の分子生物学	Bruce Albert	教育社	155	20
2	電場と磁場 (物理入門コース3)	長岡洋介	岩波書店	87	14
3	熱・統計力学 (物理入門コース7)	戸田盛和	岩波書店	85	12
4	演習微分積分 (サイエンスライフ3)	寺田文行	サイエンス社	84	19
5	基礎物理化学 上	ムーア	東京化学同人	69	26
6	分子細胞生物学 上	Darnell	東京化学同人	69	10
6	発生生物学：分子から形態進化まで 下	スコットF.ギルバート	トッパン	68	12
8	基礎有機化学	H.ハート	培風館	68	6
8	大学の基礎化学	喜多英明	学術図書出版	67	10
10	生化学	Lubert Strye	バイオメディックス	63	6
11	大学演習熱学・統計力学	久保亮吾	裳書房	62	8
12	図説生化学	石倉久之	丸善	61	5
13	固体物理学入門 上	キッテル	丸善	61	18
13	分析化学 (基礎化学選書2)	長島弘三	裳書房	57	11
15	物理のための数学 (物理入門コース10)	和達三樹	岩波書店	56	9
16	基礎物理化学 下	ムーア	東京化学同人	55	12
17	演習応用解析 (サイエンスライブラリ演算数学7)	洲之内治男	サイエンス社	55	4
17	フーリエ解析と偏微分方程式 (技術者のための高等数学3)	E.クライツィグ	培風館	55	5
17	バーロー物理化学問題の解き方	藤代亮一	東京化学同人	55	11
17	分子細胞生物学 下	James Darnell	東京化学同人	55	10
17	例解熱・統計力学演習 (物理入門コース4)	戸田盛和	岩波書店	54	6
22	有機化学実験	フィーザーウィリアムソン	丸善	54	10
22	微分積分学：詳説演習	塹江誠夫	培風館	54	8
22	発生生物学：分子から形態進化まで 上	スコットF.ギルバート	トッパン	53	8
25	基礎無機化学	F.A.コットン	培風館	52	9
26	例解電磁気学演習 (物理入門コース演習2)	長岡洋介	岩波書店	51	5
27	遺伝子の分子生物学 上	James D.Watson	トッパン	51	8
27	量子化学 (基礎化学選書12)	原田義也	裳書房	50	8
29	電磁気 上 (パークレー物理学2)	Edward M.Purcell	丸善	49	10
30	例解物理数学演習 (物理入門コース演習5)	和達三樹	岩波書店	48	10
31	電磁気学の考え方 (物理の考え方2)	砂川重信	岩波書店	48	4
31	化学反応の速度と平衡 (基礎化学選書6)	佐藤 弦	丸善	48	4
31	機器分析 (分析化学2)	クリスチャン	裳書房	47	6
34	遺伝子の分子生物学 下	James D.Watson	トッパン	46	8
35	理工系学生のための化学の基礎	柴田茂雄	共立出版	46	5
35	解析力学 (物理入門コース2)	小出昭一郎	岩波書店	46	4
35	化学通論：大学演習	吉岡甲子郎	華書房	44	6
38	例解量子力学演習 (物理入門コース演習3)	中嶋貞雄	岩波書店	44	6
38	なっとくする熱力学	都築卓司	講談社	44	4
38	有機化学 上	Robert T.Morrison	東京化学同人	44	8
38	理工系学生のための基礎物理化学	柴田茂雄	共立出版	44	5
38	入門キレート化学	上野景平	南江堂	44	8
38	分析化学基礎	クリスチャン	丸善	43	6
44	分析化学反応の基礎：演習と実験	日本分析化学会 北海道支部・東北支部	培風館	43	8
44	基本線形代数	水本久夫	培風館	43	10
44	近代経済学：経済分析の基礎 (有斐閣大学双書)	新開陽一	有斐閣	42	17
47	医科免疫学	菊地浩吉	南江堂	41	10
48	ワトソン・組換えDNAの分子生物	James D.Watson	丸善	40	8
49	フェルミ熱力学	エンリコフェルミ	三省堂	40	5

夜間開館担当職員からの感想……

Part 1 : ある日の夜間職員同士の会話から……

- A…本館でも分館でも“飲食厳禁”の張り紙を見かけるよね。
- B…そう。でもジュース飲んでいる人よく見るよ。お菓子のゴミも置き放しの時がある。
- A…張り紙を知らないのか、知っていて無視しているのかな？ 効果薄そうだな。
- C…そもそも、なぜ飲食厳禁なんだろう？
- A…そりゃ、本が汚れるのを防ぐためだよ。
- B…そうだけど、借りた本を家でジュースを飲みながら読んでいて、それで汚したらって考えると、その理由は弱いよ。
- C…なるほど。禁止の理由は他にある？
- B…閲覧室の雰囲気が悪くなるとか、机が汚れるから……？
- C…そうだね。調べものをしている横で、昼飯食べる人がいたら、確かに迷惑だな。
- B…でも、ジュースを飲むくらいだったら、いいんじゃない。
- A…そう言えば、本館の4階閲覧室の張り紙の下には、「空き缶をこのゴミ箱に捨てないで」とある。矛盾している気がするんだわ。
- C…本館には、ロビーも自販機もあるよね。
- B…分館は冷水器が壊れているし、ロビーの一部は喫煙所になっているから、たばこが嫌いな人は、外で飲むしかない。
- A…だからジュースを持ち込みたくなる？
- C…一休みできる場所があるといいね。
- B…そう。1, 2年生が自由に勉強できるのは図書館だけ。それも分館だね。
- A…何はともあれ、本は大事にしなきゃいかんと思うよ。これだけ本が多いと感覚が麻痺するけどね。それにみんなで使っているものだし。
- C…耳痛いこと言うね。でももつともだよ。家でも汚さないように読むよ。

学生と職員という両方の立場を行き来して半年を経ての感想です。

(北分館資料サービス掛事務補助員 夜勤担当者一同)

Part 2 : 図書館の閲覧業務を経験して

大学院理学研究科 古高 誠也

一般によく言われていることですが、物事を表から見るのと裏から見るのとでは全く違った印象を受けます。これは図書館の特にカウンター業務に当てはまりまして、簡単そうに見えるけれども実際はどんなのだろうと以前から思っていました。何故か運良く夜間開館担当職員に雇用されたので、上記のことを確かめてみました。アルバイトの最初の頃は、どんなことでもそうですが、慣れ

ないことばかりなので、かなり疲れました。

「全然見た目と違って、やることが多い。」これが最初の頃の印象でした。アルバイトの仕事に慣れるにつれて業務をそつなくこなすことができるようになり、余裕ができるようになりました。この余裕の態度が端から見て簡単そうに見えるのかもしれませんが。

夜間アルバイトの仕事は、閲覧室カウンターで

の本の貸出・返却，本・ビデオテープなどの配架・整理，情報ターミナルコーナーの端末の管理，そして，閉館後の戸締まりの4つに大別されます。本の配架・整理をしていると，北分館には様々な本があることに気がきました。各分野の入門書から専門書，文芸書及び推理小説，果てはトンデモ本までです。推理小説などの娯楽書は置くべきではないという意見がありますが，逆に僕は積極的にとはいかないまでも，置いてあっても構わないと思っています。他大学出身の私から見て，分

館，本館の本の種類と数の多さに，北大生は恵まれていると思っています。

図書館に読みたい本がないのなら，積極的に購入希望を出すべきだと思います。職員の方の話では，原則として希望図書は全て購入するそうです。こうして図書館の本をどんどん充実させていきましょう。

(ふるたか せいや 北分館資料サービス掛事務補助員)

Part 3 : 「夜間開館へお越し下さい」

大学院法学研究科 紺屋 博昭

「はい，こちら附属図書館本館三階カウンターです。」

「はい，平日は午後10時まで開館しています。」

「いいえ，書庫はこの時間は残念ながら開いておりません。はい，お急ぎでなければ，平日の朝9時以降にカウンターの職員にその資料を御請求下さい。」

「……ええ，ご不便をお掛けして申し訳ございません。」

「……確かにそうですね。夜間開館は私達三人の担当ですので，書庫内のサービスまでは今のところ手が回りません。でも……同じように書庫内の資料閲覧を希望する方は大変多いのです。よろしければ夜間の書庫の利用が出来るよう，お力添えをお願いします。何よりも図書館は利用者の声いかにで便利が変わりますし……。私達としても毎回書庫のご利用をお断りするのには心苦しい仕事なのです。」

「……」

「恐れ入ります。入館の際は学生証・利用証をご提示下さい。」

「いいえ。学生教職員以外の利用を全く排除している訳ではありません。」

「あの……本来は大学の附属図書館という性格上，利用資格を一応そのように決めますが，図書館は一般的に利用者に広く開かれている必要があるとの理念を承知しています。……ええ，利用にあたって紹介状のご持参をお願いしていますが，ご身分をご証明出来るものがありましたら簡単な手続きでご利用できる便宜がありますので……。」

「ええ，いわゆる大学受験の予備校生はご遠慮ねがってますが……。はい，ここにはミュージズの神様もいらっしやるようですし，二三の縁起話もあります。」

「設備は古いですが，語学のテープ等も各種ご用意できます。まずはこのフロア全体のご利用をお楽しみ下さい。」

「……」

「はい。こんにちは。」

「どうぞなんなりとお申し付け下さい」

「……」

「いいえ。いいえ普段は私達は非番を含めて6人全員大学院生です。」

「失礼ですが……なるほど……こちらでの勤務に関心をおもちですか……」

「そうです。私達はいわゆる図書の専門家ではありません。しかしそれぞれ専攻のちがう院生3人が、各人の能力を最大限生かしてカウンターでの総合案内を担当します。本の貸し出し処理が主な仕事ですが、外国語論文の所在調査からレポート作成のための文献案内まで、ご相談もいろいろあります。」

ええ、大丈夫ですよ……その場合は専門の図書館職員が担当を引き継ぎます。これはあまりご存じないかも知れませんが、フロントサービスの私達の仕事を後方から支持する図書館職員は数え切れない程たくさんいて、これまた数え切れない程の本について専門の「お守り」をしてるんです……そうした専門家の職員の力あってこそ、私達の仕事もなりたっていますので。」

「そうですね……それはありますよ。例えば、L.A.近郊の安いゲストハウスを知りたいとか……観楓会の語源を教えてくださいとか……しかし私達は幸い興味も関心も広い院生ぞろいですので、喜んでお手伝いします。少なくともどこに行けば、なにを見ればお客様の質問の答えがわかるかくらいはご案内します。ときにそうして学部生の試験を応援したりもしています。ご認識はいろいろありましょうが、図書館職員は研究教育のサポートスタッフです。私達もその一端を担っている自負があります。」

「……」

「はい、いかがなさいました？」

「……夜間の利用者は300人前後でしょうね。」

「ええ、全員の学生証・利用証を拝見しますよ。専ら拝見のための勤務かも……」

「はい……確かに。その類いの苦情は聞いております。」

「……私達に関して言えば、例えば学生証・利用証のご提示と拝見の「やりとり」をきっかけにして、利用者とのコミュニケーションが活発になればと願っております。せっかく見せてくれたから、真剣に見てご挨拶するとか……。それに私達は採用にあたって、学生利用者と共通理解ができることを期待されてますので、利用者にはホスピタリティを旨として接するよう心がけております。決して身元確認の意地悪ではありません。」

「そうです。図書館は静粛を重んじてはいますが、いつでも何でも遠慮なくおたずね下さい。もっと私達とコミュニケーションしましょう。そして図書館に意見して下さい。私達からみて声をかけたり、お手伝いをしたくなる学生の方はたくさんいます。でも皆さんひとりで苦戦してるようで……。」

「私達には制約もありますが、仕事のアイディアは豊富にあります。工夫次第で利用者のお役に立てることはたくさんあると思います。私達は忠実な本の貸出器でも整理器械でもなく、サービス精神旺盛な図書館職員です。きっと満足いただけると思います。」

「利用者のひとりひとりの満足が、私達の仕事の達成感と満足感になります。結構楽しいですよ。サービスする楽しさですね。黙って座っているのはつらいですから。それに利用者の生の声が聞かれないと、私達は単なるカウント職員になってしまいますので……」

「とにかく図書資料のご相談なら、夜間開館は「狙い目」ですよ。」

「……」

「はい、そうですが……」

「はい、夜間開館にぜひお越し下さい……お待ちしております。」

(こんや ひろあき 本館資料サービス掛事務補助員)

お知らせ

開館時間延長拡大後の利用者数について

本館・北分館において開館時間を延長した平成9年4月1日からの1日あたりの図書館利用者数は、下表のとおりとなっております。前年同時期

の入館者数と併せて掲載しましたので参考までにお知らせします。

本館	8年度		9年度			分館	8年度	9年度
	平日夜	土曜	平日夜	土曜	日曜			
4月	205	465	197	447	211	4月	—	339
5月	207	523	251	462	216	5月	198	393
6月	228	521	238	460	251	6月	338	457
7月	238	933	214	628	351	7月	403	548
8月	0	249	0	0	0	8月	329	496
9月	159	579	225	519	353	9月	231	318
10月	187	533	209	340	219	10月	244	308

※北分館の8年4月分については、集計故障のため入館者不明

なお、平日（午後5時以降）及び本館の土・日曜日は、開架閲覧室のみ利用できることとしておりますが、特例として、土・日曜日の開館時間においては、教官・大学院生等の入庫資格者は書庫に入り自習することができます。利用したい方は図書館利用証をお持ちください。

ただし、書庫図書の貸出し・出納等書庫に関する

サービスを受けることはできません。また、図書の管理は自分で責任を持って元の場所に返却していただく必要があります。本を違ったところに戻すと、他の利用者に変な迷惑をかけるのでご注意ください。

利用できる時間は、11時30分から16時30分までです。

夏季開架閲覧室・書庫作業について

本館（8月11日から22日まで）および北分館（7月22日から8月4日まで）では、開架閲覧室および書庫を閉室し、開架閲覧室の蔵書点検および書庫内資料の再配置をおこないました。

開架閲覧室の蔵書点検は、行方不明となった開架閲覧室資料の追跡調査、書庫に紛れ込んだ開架資料・開架に紛れ込んだ書庫資料を正しい場所へ配架するなどの作業を行うものです。

蔵書点検に使用する機器および作業人員の都合

で、2週間程度の閉室が必要となり利用者の方々にはご不便をおかけしましたが予定どおり終了しました。

書庫内資料の再配置では、資料の増加により書庫がきつくなり、新しい資料が配架できなくなった部分を移動して空きスペースを確保しました。書庫の収容能力は120万冊といわれていますが、所蔵冊数はすでに110万冊をこえ、書庫の狭隘化は深刻な問題となっております。

ライブラリーガイダンスが実施されました

10月8日・9日の2日間にわたり、ライブラリーガイダンスを実施しました。

ライブラリーガイダンスは、利用者の方々に、図書館への理解を深め、より効果的、効率的に図書館のサービスを利用していただくために図書館が開催している講習会です。今回のガイダンスは、「蔵書の調べ方」(1日目)と「文献の調べ方」(2

日目)の2つをテーマにして開かれたもので、学部生・大学院生を中心に各回10人が参加しました。

ガイダンスでは、図書館職員の説明のほか、実際にコンピュータを使った検索演習も行われ、参加者たちは真剣な表情で受講していました。

国連寄託図書館会議が開催されました

10月2日～3日の日程で、第29回国連寄託図書館会議を開催しました。

国連寄託図書館は、国連の活動を広く周知させるために設置された図書館で、国連に関する情報や国連が発行する出版物を利用することができます。日本には18箇所設けられ、本学は1962年に寄託図書館の指定を受けています。

この会議には、全国から16機関19名の寄託図書館の担当者が参加し、2日間にわたり、各館の活動や事例研究報告および国連寄託図書館の抱える問題についての活発な議論や意見交換を行いました。

また、本学名誉教授で、国連での法務官や委員会議長を務められたこともある帝塚山大学法政策



講演する曾野和明氏

学部教授曾野和明氏による「世界の変化と縦割りの対応の限界」と題する、冷戦後の国際関係の変化と今後の国連の役割についての講演会も実施され、各参加者は熱心に耳を傾けていました。

北海道大学図書館講演会が開催されました

(1) 10月21日13:00から、本学文学部助教授武田雅哉氏による「中国のふしぎなじてん」及び学術情報センター研究開発部教授安達淳氏による「電子図書館：次の展開をさぐる」と題する講演会を開催しました。

武田氏の講演では、中国の「じてん(辞典・事典)」における日本とは異なった内容の表わし方や昔と比べ現在の「じてん」における表記内容の相異などの紹介があり、また、安達氏の講



講演する安達淳氏

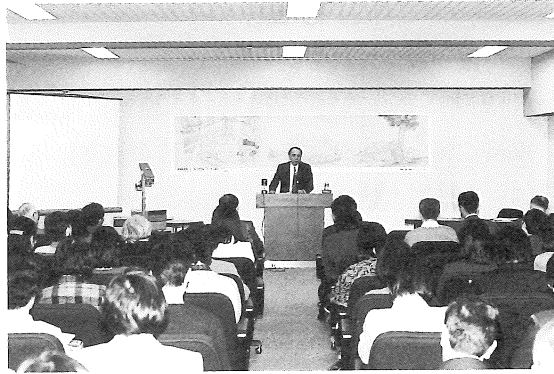
演では、学術情報センターにおける学会との連携や大学等への情報提供等の立場、NACSIS電子図書館がめざすもの、電子図書館をいかにして導入するか実用的なアプローチと研究環境に適応させたアプローチ、基本的なサービス要件及び基本

(2) 11月25日13:30から、本学大学院理学研究科教授小泉格氏による「博物館と図書館」及び慶應義塾大学文学部教授糸賀雅児氏による「大学図書館の自己点検・評価と図書館員の役割」と題する講演会を開催しました。

大学等図書館関係者70名余りが参加し、小泉氏は、本学創基125周年に合わせた「University Museum（博物館）」構想の概要・経緯及び図書館との連携と業務のかかわりや本学における改革の状況などについて、糸賀氏は、図書館の自己点検・評価を行う際の方法的枠組み、図書館評価の国際動向、図書館における課題と館員の役割ならびに点検項目や方式などにつ

的なシステム要件などのお話がありました。

この講演会は、道内国立学校の図書館業務に従事する職員に対して本学が行うもので、図書館関係者60名が受講しました。



講演する糸賀雅児氏

いての講演があり、両講師の熱心な講演に受講者はメモをとるなど真剣な面持ちで傾聴し、質問も出され盛況のうちに終了しました。

北分館で防火避難訓練が実施されました

附属図書館では、昨年の本館に続いて、今年度は北分館において、非常時における通報・連絡体制を確立するとともに避難の迅速な対応の向上を図るため、10月28日（火）午後3時、北分館3階倉庫から出火したものと想定し、防火避難訓練が実施されました。

この訓練は、札幌北消防署及び幌北出張所の協力、指導をいただき行われたもので、火災報知のベル音を合図に、北分館長及び事務部長をはじめ北分館、本館職員一同は分担された役割に従って、図書館利用者を避難所に誘導したり、消防署への通報や初期消火にあたる者等真剣かつ迅速に行い、訓練は無事終了しました。北消防署幌北出張所長からは、全体としては良好に進められたとの講評がありました。



初期消火の訓練を受ける館員

また、北分館職員玄関前において、消防署担当者から消火器取り扱いの指導があり、消火器の使用方法や消火剤のかけ方、かける位置などの指導を受け、数人の館員がオイルパンの火を消し止める初期消火の実施訓練も行いました。

会議 (9.5.1～9.10.31)

【学 外】

- 平成9年度国立大学附属図書館事務部課長会議

〈平成9年5月27日(火)〉

当番校：東京医科歯科大学

〔出席者：事務部長 三上洋由，情報管理課長 東海安興，情報システム課長 清水二郎〕

- 国立大学図書館協議会常務理事会

〈平成9年5月28日(水)〉

当番校：東京大学

〔出席者：館長 原 暉之，事務部長 三上洋由，情報管理課長 東海安興，情報システム課長 清水二郎〕

- 国立大学図書館協議会理事会

〈平成9年5月29日(木)〉

当番校：東京大学

〔出席者：館長 原 暉之，事務部長 三上洋由，情報管理課長 東海安興，情報システム課長 清水二郎〕

- 国立大学図書館協議会と学術情報センターとの業務連絡会

〈平成9年5月30日(金)〉

場所：学術情報センター

〔出席者：事務部長 三上洋由，情報管理課長 東海安興，情報システム課長 清水二郎〕

- 第44回国立大学図書館協議会総会

〈平成9年6月25日(水)～26日(木)〉

場所：都ホテル

〔出席者：館長 原 暉之，事務部長 三上洋由，情報管理課長 東海安興，情報システム課長 清水二郎〕

- 北海道地区大学図書館協議会幹事館会議，第47回北海道地区大学図書館協議会総会

〈平成9年8月28日(木)〉

当番校：北見工業大学

- 第30回国立七大学附属図書館部課長会議

〈平成9年10月15日(水)〉

当番校：名古屋大学

〔出席者：事務部長 三上洋由，情報管理課長 東海安興〕

- 第71次国立七大学附属図書館協議会

〈平成9年10月16日(木)〉

当番校：名古屋大学

〔出席者：館長 原 暉之，事務部長 三上洋由，情報管理課長 東海安興〕

【学 内】

- 附属図書館新営検討小委員会 (第2回)

〈平成9年5月8日(木)〉

議 題

1. 附属図書館の新営について

- 附属図書館報編集委員会

〈平成9年5月27日(火)〉

議 題

1. 楡蔭 (No,98) の編集について

- 第119回北分館委員会

〈平成9年5月28日(水)〉

議 題

1. 平成8年度北分館図書費決算報告について

2. その他

①学生への推薦図書の紹介について

②高等教育機能開発総合センター内演習室の視聴覚機器の充実に伴う視聴覚資料について

③高等教育機能開発総合センター改修に伴う北分館施設について

報告事項

1. 北分館備付け資料の推薦依頼について

2. 附属図書館新営検討小委員会について

3. 大学祭開催期間中の時間外開館の中止について

4. 平成9年度前期「分館演習室」の利用申込みについて

5. 時間外開館の状況について

6. その他

- ①視聴覚機器の充実について
- ②分館委員会委員の代理について

○附属図書館業務改善WG（第1回）
〈平成9年6月6日(金)〉

○附属図書館新営検討小委員会（第3回）
〈平成9年6月11日(水)〉

議 題

1. 附属図書館の新営について

○北海道地区大学図書館協議会幹事館会議
〈平成9年6月12日(木)〉

○附属図書館業務改善WG（第2回）
〈平成9年6月16日(月)〉

○第168回（平成9年度第1回）図書館委員会
〈平成9年6月18日(水)〉

審議事項

1. 電子図書館検討小委員会（仮称）の設置について
2. 学術文献データベース等検討小委員会（仮称）の設置について

報告事項

1. 平成10年度歳出概算要求事項について
2. 附属図書館新営検討小委員会について
3. 平成9年度図書資料（大型コレクション）収書計画について
4. 平成9年度自然科学系図書資料収書計画について
5. その他

- ①附属図書館時間外入館者数について
- ②土曜日及び日曜日の附属図書館書庫の入庫について
- ③外部データベース部局別ユーザ数について
- ④図書館情報システム更新日程概略について

○附属図書館業務改善WG（第3回）
〈平成9年7月2日(水)〉

○図書担当掛長会議
〈平成9年7月4日(金)〉

報告事項

1. 第168回図書館委員会について
2. 会計検査院による会計実地検査について

3. 北海道図書館連絡会議について
4. 平成9年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」の交付内定について
5. 第29回国立大学図書館協議会北海道地区協議会について
6. 平成9年度国立大学附属図書館事務部課長会議について
7. 国立大学図書館協議会理事会について
8. 第44回国立大学図書館協議会総会について
9. 次期図書館情報システムについて
10. 遡及入力事業について

○第120回北分館委員会
〈平成9年7月9日(水)〉

議題

1. 平成9年度北分館図書費予算要求額（案）について

報告事項

1. 分館の蔵書点検作業について
2. 学生への推薦図書の紹介の現状報告について
3. 分館2, 3階の統合計画と4階の再開発について
4. 分館書庫内の重複図書の不用決定作業について
5. 高等教育機能開発総合センター関係者との懇談の報告について

○電子図書館検討小委員会
〈平成9年7月14日(月)〉

議 題

1. 委員長の選出について
2. 附属図書館の電子図書館計画について

○学術文献データベース等検討小委員会
〈平成9年7月15日(火)〉

○第169回（平成9年度第2回）図書館委員会
〈平成9年7月16日(水)〉

議 題

1. 平成8年度決算及び平成9年度予算配当（案）について

2. 図書館資料の不用決定について

報告事項

1. 電子図書館検討小委員会について

2. 学術文献データベース等検討小委員会について

3. 平成9年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」(北方関係資料総合データベース)の交付内定について

4. 遡及入力事業について

5. 第44回国立大学図書館協議会総会について

○附属図書館新営検討小委員会(第4回)

〈平成9年7月22日(火)〉

議 題

1. 附属図書館の新営について

○附属図書館新営検討小委員会(第5回)

〈平成9年7月29日(火)〉

議 題

1. 附属図書館の新営について

○北海道地区大学図書館協議会幹事館会議

〈平成9年8月7日(木)〉

○附属図書館業務改善WG(第4回)

〈平成9年8月19日(火)〉

○附属図書館業務改善WG(第5回)

〈平成9年9月1日(月)〉

○電子図書館検討小委員会(第2回)

〈平成9年9月2日(火)〉

議 題

1. 電子図書館計画に関する基本方針及び検討事項について

○附属図書館新営検討小委員会(第6回)

〈平成9年9月8日(月)〉

○第121回北分館委員会

〈平成9年9月11日(木)〉

議 題

1. 北分館4階演習室の利用時間の延長について

2. 北分館の当面の機能と将来像について

報告事項

1. 附属図書館新営検討小委員会(平成9年9月8日開催)について

2. 北分館防火・避難訓練実施について

3. 北分館の蔵書点検実施について

4. 北分館における利用ガイダンスについて

5. 定期試験期(前期)の北分館「土曜開館」結

果報告について

6. (ホームページ)図書紹介コーナー、新着図書紹介について

7. その他

①総長の北分館訪問について

②分館委員会委員長の代理者について

③次回分館委員会の開催について

○附属図書館業務改善WG(第6回)

〈平成9年9月19日(金)〉

○学術文献データベース等検討小委員会

〈平成9年7月24日(水)〉

○附属図書館新営検討小委員会(第7回)

〈平成9年9月29日(月)〉

議 題

1. 附属図書館の新営について

○電子計算機仕様策定委員会

〈平成9年10月1日(水)〉

○第29回国連寄託図書館会議

〈平成9年10月2日(木)〉

○附属図書館業務改善WG(第7回)

〈平成9年10月6日(月)〉

○附属図書館報編集委員会

〈平成9年10月13日(月)〉

議 題

1. 榆蔭(No.99)の編集について

○電子図書館検討小委員会(第3回)

〈平成9年10月14日(火)〉

議 題

1. 小委員会委員長の選出について

2. 電子図書館計画に関する基本方針及び検討方法について

○附属図書館業務改善WG(第8回)

〈平成9年10月17日(金)〉

○附属図書館新営検討小委員会(第8回)

〈平成9年10月23日(木)〉

議 題

1. 附属図書館の新営について

○第170回(平成9年度第3回)図書館委員会

〈平成9年10月29日(水)〉

議 題

1. 北分館の機能及び整備について

報告事項

1. 附属図書館新営検討小委員会について
2. 電子図書館検討小委員会について
3. 学術文献データベース等検討小委員会について
4. 平成9年度図書資料（大型コレクション）の決定並びに平成10年度図書資料（大型コレクション）及び自然科学系図書資料収書計画調書の提出日程について

5. 外部データベース検索サービスの「無料体験キャンペーン」の実施について

6. その他

- ①「委員会見直し」の検討状況について
 - ②附属図書館常設展示パネル写真の更新について
- 附属図書館業務改善WG（第9回）
〈平成9年10月30日(木)〉

研修・講習会等 (9.5.1~9.10.31)

学 外]

○第18回EDCセミナー

〈平成9年5月22日(木)~5月23日(金)〉

(場所：日本大学国際関係学部図書館ほか)

受講者：佐藤依理子（附属図書館情報サービス課参考調査掛）

○平成9年度第2回ILLシステム講習会

〈平成9年6月25日(水)~6月26日(木)〉

(場所：学術情報センター)

受講者：中村 陽（附属図書館情報サービス課相互利用掛）

○平成9年度大学図書館職員長期研修

〈平成9年7月14日(月)~8月1日(金)〉

(場所：国立オリンピック記念青少年総合センター，図書館情報大学ほか)

受講者：菊池健二（理学部図書掛）

○平成9年度図書館等職員著作権実務講習会

〈平成9年7月30日(水)~8月1日(金)〉

(場所：東京大学)

受講者：岸本一志（附属図書館情報システム課学術情報掛），児玉陽子（理学部図書掛），中野真弓美（医学部図書整理掛），一重晶子（工学部図書閲覧掛），守谷径子（水産学部図書掛），川端美明（大学院地球環境科学研究科図書掛長）

○第40回北海道地区大学図書館職員研究集会

〈平成9年8月1日(金)〉

(場所：札幌学院大学)

○平成9年度第1回情報ネットワーク担当職員研修（ネットワーク管理II）

〈平成9年8月4日(月)~8月8日(金)〉

(場所：学術情報センター)

受講者：杉田茂樹（附属図書館情報システム課情報処理掛）

○平成9年度漢籍担当職員講習会（漢籍電算処理）

〈平成9年9月29日(月)~10月3日(金)〉

(場所：京都大学)

受講者：齋藤壽美子（附属図書館情報システム課目録情報掛）

○平成9年度学術情報センター・セミナー

〈平成9年10月6日(月)~12月19日(金)，平成10年1月12日(月)~2月27日(金)〉

(場所：学術情報センター)

受講者：松尾博朋（附属図書館情報システム課目録情報掛）

【学 内】

○平成9年度第1回目録システム地域講習会（図書コース）

〈平成9年6月4日(水)~6月6日(金)〉

受講者：阿部千夏子（農学部図書整理掛）

○平成9年度第2回目録システム地域講習会（図書コース）

〈平成9年6月4日(水), 6月9日(月)～6月11日(水)〉

受講者：東 重俊（附属図書館情報管理課北分館情報管理掛長）、小林流美子（附属図書館目録情報掛）

○平成9年度ILLシステム地域講習会

〈平成9年7月14日(月)～7月15日(火)〉

受講者：石森久美（附属図書館情報サービス課北分館情報サービス掛）、川村 幸（薬学部図書掛）

○平成9年度目録システム地域講習会（雑誌コース）

〈平成9年7月16日(水)～7月18日(金)〉

受講者：東理直子（附属図書館情報システム課学術情報掛）、金子 敏（附属図書館情報管理課北分館情報管理掛）、糸林真優子（農学部図書整理掛）、伊藤ますみ（文学部図書掛）、武田靖恵（工学部図書整理掛）

○平成9年度NACSIS-IR地域講習会

〈平成9年7月31日(木)〉

受講者：長井伸一（附属図書館情報サービス課資料サービス掛）、中村 陽（附属図書館情報サービス課相互利用掛）、東理直子（附属図書館情報システム課学術情報掛）、平田栄夫（工学部図書閲覧掛）

○平成9年度北海道大学事務職員研修「実用英会話コース」

〈平成9年10月2日(木)～平成10年2月2日(月)〉

受講者：高野直樹（附属図書館情報サービス課資料サービス掛）

○平成9年度北海道大学事務職員英語研修「初級コース」

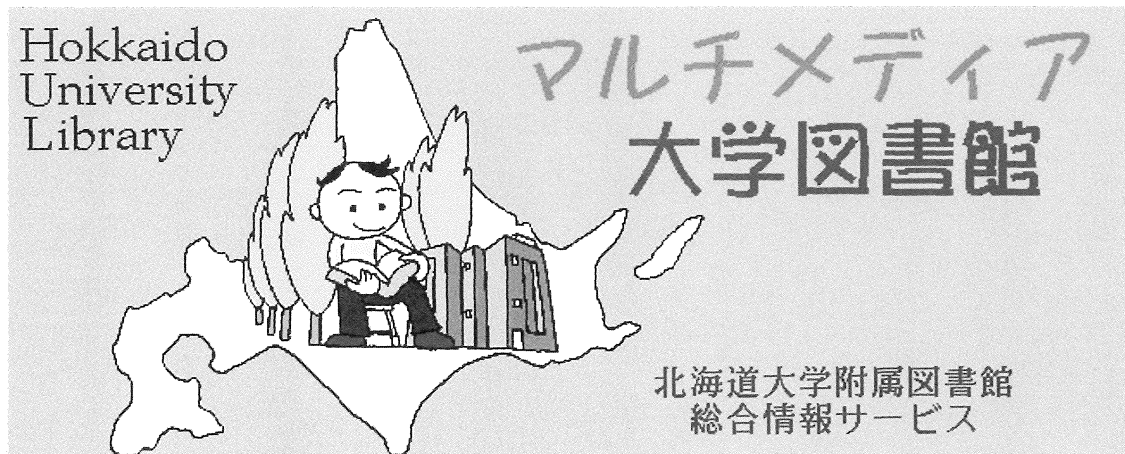
〈平成9年10月7日(火)～平成10年1月23日(金)〉

受講者：梶原茂寿（附属図書館情報サービス課北分館情報サービス掛）

【PR：ホームページ】

附属図書館及び部局図書室の情報を見ることができます。

URLは、<http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/>です。アクセスしてみてください。



図書館からのお知らせ

- **New!** 国内の雑誌論文を探すツールCD-ROM版 雑誌記事索引の使い方についてのライブラリーセミナーを開催します。(平成10年1月20, 22日)
- **New!** オンラインジャーナル集
- **New!** 北海道大学新着図書

北大図書館・図書室の利用ご案内 Library Guide	マルチメディアでみる北大と北海道のあゆみ
北大の蔵書検索 WWW telnet	北方資料マルチメディアデータベース検索
電子ジャーナル・学術文献情報	貴重図書などの電子閲覧室
北大の研究・協力・キャンパス情報	国立大学図書館協議会巡回展示
北海道大学附属図書館広報	日本の図書館・世界の図書館

北大図書館への投書箱です。あなたのご意見をお聞かせください。

テーブルタグを正常に表示できないブラウザをご利用の方はこちらをご利用ください。

北海道大学のホームページへ

各部局図書室のホームページへ

www-admin@ambitious.lib.hokudai.ac.jp

北海道大学附属図書館報「楡蔭」(ゆいん) 通号99号
ホームページ: WWW(<http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp>)

発行人 附属図書館事務部長 三上 洋由

編集事務 東海安興・木村恵一・佐藤 剛・首藤佳子・長井伸一・中村 陽・東理直子・
片桐和子・石丸 恵・菊池健二・富本壽子・平田栄夫・平野 知・高塚 恵

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北区北8条西5丁目
TEL 011-706-2967, FAX 011-747-2855

印刷所 (株)アイワード